

総研大ニューズレター

第22号 2010.3 発行

● 目次

- 【今月のトピック】 「総研大レクチャー『プレゼンテーションセミナー2010』開催
メディア社会文化専攻」
「先導科学研究科 国際セミナー開催 葉山共通事務室」
「国立遺伝学研究所 国際シンポジウム開催 国立遺伝学研究所」
「サイエンスカフェ
～インフルエンザ・ウイルスと私たちの未来～ 開催 総務課」
「核融合科学専攻 アジア冬の学校開催 核融合科学専攻」

【各種募集】

【イベント情報】

主なイベント予定

- 3月8日-10日 総研大 アジア冬の学校 (JAXA 相模原キャンパス)
3月23日 学術交流会 (湘南国際村センター)
3月24日 学位記授与式 (葉山キャンパス)
3月24日 長倉研究奨励賞・総合研究大学院大学研究賞
発表会・授与式 (葉山キャンパス)
4月8日 入学式

【編集後記】

【今月のトピック】

「総研大レクチャー『プレゼンテーションセミナー2010』開催」

去る1月15日(金)16日(土)17日(日)の3日間にわたり、放送大学において、総研大文化科学研究科メディア社会文化専攻が主催する「プレゼンテーションセミナー2010」を開催しました。このセミナーは、他領域の研究者やマスコミや行政官や一般の人々に、研究内容やその社会に及ぼす影響を正確かつ分かりやすく伝えるプレゼンテーションを設計し実践するスキルの涵養を目指しています。2009年に続く2回目の開催となる今回は、専攻や大学の枠を超えた幅広い講師陣による講義と演習の組み合わせで構成しました。本セミナーの構成要素の概要と担当講師を、以下に紹介します。

◆「オリエンテーション」【担当：三輪眞木子(メディア社会文化専攻教授)】では、このセミナーの狙いとスケジュールを説明した後、受講生と講師の自己紹介をしました。

◆「科学コミュニケーション」【担当：高橋秀明(メディア社会文化専攻准教授)】では、研究者が他領域の研究者や一般の人々に自分たちの研究内容を正確かつ分かりやすく伝えることの重要性を、実証研究の結果を踏まえて説明したうえで、「もしあなたの研究が仕分けの対象になったら、どのように相手を説得しますか？」という問いかけに答える演習を行いました。



高橋秀明准教授による講義

◆プレゼンテーションの理論【担当：鈴木栄幸(茨城大学・人文学部・人文コミュニケーション学科教授)】では、プレゼンテーションにおいて、相手(聴衆)の立場に立ってメッセージを組み立てることの重要性と方法に焦点を当てて、コミュニケーション理論と研究成果を紹介しました。さらに、「学生に漫画を書かせる」ことが相手の立場への理解をもたらすという主張に基づく事例研究の成果を報告しました。

◆効果的プレゼンテーションの技法【担当：青木久美子(メディア社会文化専攻准教授)】では、プレゼンテーションを単なる発表ではなく聴衆とのコミュニケーションの場ととらえて、準備、設計、実践に関するノウハウを理論面と実践面から紹介したうえで、「パワポのスライド3枚で自分の研究を語りなさい」という問いに答えて演習を行いました。

◆画面表現法【担当：黒須正明(メディア社会文化専攻教授)】では、パワーポイントの画面設計を題材に、心理学の研究成果に基づく効果的な画面設計や表現の方法について、テキスト、図、グラフの効果的な表現方法と、情報アーキテクチャーについて説明しました。さらに、パワポで使える技法を紹介しました。

◆プレゼンテーションでの音と映像の活用【担当：仁科エミ(メディア社会文化専攻教授)】では、音に着目して音響機器の特性とプレゼンテーションでの使用上の注意点やデジタル音響映像の多様なフォーマットの特徴を説明した上で、「講師が準備した短い音響映像素材を編集しなさい」という指示に沿った演習を行いました。その上で、編集した音響映像素材をプレゼンテーションに組み込んだり、プレゼンテーションにナレーションを付ける方法を紹介し、最後に、特殊機材を使った映像音響のデモを実施しました。

◆多様な聴衆へのプレゼンテーション【担当：小島道裕(日本歴史研究専攻教授)】では、国立歴史民俗博物館に来館した人々による主体的な展示解釈を支援するために積み重ねてきた様々な実践上の取り組みを紹介した上で、持参した「洛中洛外図屏風」の1/2サイズ模型を教室に展示して、「この図で知っている場所を見つけなさい」、「この図に描かれている人を1人選んで、思いをセリフにしてポストイットで該当する場所に張り付けなさい」という2つの問いかけに応じた演習を行いました。

◆学生によるプレゼンテーションの制作と発表【学生の発表に講師陣が講評】では、学生が、セミナーでの学習成果を踏まえて、10分程度のパワポ(素材は学生が持参)を作成し、最終日の午前中に講師陣の前でプレゼンテーションを実施し、講評を受けました。講師陣の指摘を受けた部分を修正し、午後にはファイナル・プレゼンテーションを実施し、成績評価を受けました。

終了時に実施した受講生によるセミナー評価アンケート結果は、おおむね好評でした。次年度は、2011年1月14日(金)15日(土)16日(日)の3日間にわたって「プレゼンテーションセミナー2011」を開催する予定です。



小島道裕教授による演習場面



学生によるプレゼンテーション

【文責 文化科学研究科 メディア社会文化専攻 三輪眞木子教授】

「先導科学研究科 国際セミナー

『環境適応の起源と進化—共生・細胞・個体・集団・社会—』開催」

去る1月27日(水)から29日(金)にかけて3日間にわたり、湘南国際村センターにおいて国際セミナー「環境適応の起源と進化—共生・細胞・個体・集団・社会—」:International Seminar: Origin and Evolution of Environmental Adaptation-Symbiosis, Cells, Individuals, Populations and Societies が開催されました。アメリカ、ドイツ、スペインなど海外からの講演者5名を含む9名の講演者の先生方をお招きし、学内外合わせて57名の参加者が集まりました。

初日の27日は、井上勲先生(筑波大学)の基調講演のあと、学生・ポスドクを中心に若手17名がポスター発表を行い、それぞれの研究テーマについて活発に議論が交わされました。翌28日は朝9時より講演が始まり、午後からはアメリカの Pamela Colosimo 博士やスペインの Laszlo Garamszegi 博士の講演も行われ、各分野の海外での最新研究の成果を聞くことができました。夜には総研大のラウンジにてアットホームな雰囲気での懇親会が行われましたが、講演者も学生もみな、打ち解けてリラックスした様子でした。

最終日の29日は、朝9時よりドイツの Uerpman 博士夫妻の講演に始まり、最後にアメリカ・スタンフォード大学の Carlos Bustamante 博士の講演をもって全プログラムが終了しました。「共生・細胞・個体・集団・社会」と、多岐にわたる専門分野の講演でしたが、参加者たちはそれぞれに新しい発見を得、実り多い時間を過ごすことができた3日間でした。



【文責 葉山共通事務局】

「国立遺伝学研究所 国際シンポジウム

『夢みる遺伝学～そして生命が好きになる～』開催」

国立遺伝学研究所(小原雄治所長)では、「夢みる遺伝学～そして生命が好きになる～」をテーマとした国際シンポジウムを、1月30日に一ツ橋記念講堂で開催しました。

これは、国立遺伝学研究所の創立60周年記念事業の最後を飾るもので、全国の高校生、高校教員、大学生、一般社会人など約250名が参加しました。

DNAの塩基配列を読む「シーケンサー」の開発などに貢献した理化学研究所ゲノム科学総合研究センター初代センター所長 和田昭允氏による「時を経て変化し続ける生命と物質について」の講演が行われ、その中で、「究極の課題として生命とは何か。わたしたちは広い視点を持たなくてはいけない。では、どう調べたら良いか、物質があり、物理・化学があれば生命体は誕生しうる。」ことを述べられました。



開会の挨拶をする小原所長

次に、世界で最も権威のある学術雑誌のひとつで「Science」の副編集長 Dr. Barbara Jasny が「サイエンスフロンティアと遺伝学」のタイトルで講演されました。その中で、「いま科学者は生命の神秘を解き明かすいくつかのツールを持っている。優れた研究とは、大きなインパクトを持ち、従来の定説を覆し、他の分野からみても魅力的な研究である。また、女性科学者として私は恵まれていたと思う。生物学が好きだったし、両親の支援、師にも恵まれた。私はいま色々なことに興味をもっておこなえることが嬉しい。」と述べられました。



さらに公文国際高校の高校生による「フナムシの系統樹研究」や遺伝子ロボコン iGEM コンテストの東京大学チームによる研究発表が行われ、さらに、講演者による総合討論では、研究の魅力、若手の今後の進路としての研究者への道、研究者になるための資質についての熱心な討論が行われました。会場の参加者も興味深く熱心に聞き入り、また、会場からも活発な質問討論が展開され、“科学の魅力”を感じさせられた、シンポジウムとなりました。

また、2月1日には Dr. Barbara Jasny が国立遺伝学研究所に来所し、「Frontiers of Science」をテーマに講演を行いました。

【文責 国立遺伝学研究所】

「サイエンスカフェ ～インフルエンザ・ウイルスと私たちの未来～ 開催」

1月22日（金）に、葉山町内のレストラン「夕風亭」を会場に葉山本部主催のサイエンスカフェを開催しました。今回は10代から60代まで幅広い年代の方々16名の参加がありました。

講師として、本学の葉山高等研究センターの佐々木顕教授を迎え、「インフルエンザ・ウイルスと私たちの未来」と題して2時間の講義を行いました。インフルエンザ・ウイルスに関して「今起きていること」という話題から始まり、「インフルエンザの歴史」や「感染のしくみ」「薬とワクチン」「進化の特徴」などについて紹介していただきました。

今回のテーマは世界的に大きな問題となって、現在も猛威をふるっているインフルエンザに関することとあって、強い興味を持って参加した方が多く、積極的に質問がなされていました。私達がどのようにインフルエンザ・ウイルスに向かい合っていくべきかを考える良い機会となりました。

また、終了後のアンケート結果においても、「とても満足」「満足」と回答した方が多く、本学における研究成果を一般の方にわかりやすく伝えるというサイエンスカフェ本来の目的は充分達成されたようでした。



【文責 総務課】

「核融合科学専攻アジア冬の学校開催」

平成 22 年 1 月 25 日(火)から 29 日(金)まで核融合科学専攻アジア冬の学校が核融合科学研究所(NIFS)で開催されました。国外は中国、韓国、インド、台湾、セルビアの 5 カ国から 20 名、国内からは 10 名の総計 30 名の参加がありました。小森彰夫専攻長の「プラズマ・核融合の最先端科学・技術を学ぶとともに参加者同士および NIFS スタッフとの交流を深めてほしい。」といった趣旨の挨拶の後、研究所日時計前で記念撮影が行われ、講義に移りました。

講義では、プラズマ・核融合に関する理論、シミュレーションおよび実験の基礎的な内容とともに、プラズマ閉じ込め、プラズマ構造形成や乱流、輸送などの最新の研究、さらには超伝導技術などが取り上げられました。プラズマ輸送および超伝導技術の講義では参加者も加わって、熱輸送と遮蔽効果、超伝導による磁気浮上の机上実験が行われました。

2 日目の午後には、大型ヘリカル装置(LHD)の見学、バーチャルリアリティ(VR)装置 CompleXcope での大規模 3 次元シミュレーションデータの可視化体験が行われました。LHD の見学では、通常の見学コースには含まれていない装置下部に入っの計測装置の見学も実施され参加者の興味を引いていました。また、VR では、参加者一人一人が実際に装置を操作して VR 空間を移動しながらシミュレーションデータの解析を行うなど、貴重な体験をしました。



大型ヘリカル装置(LHD)の見学

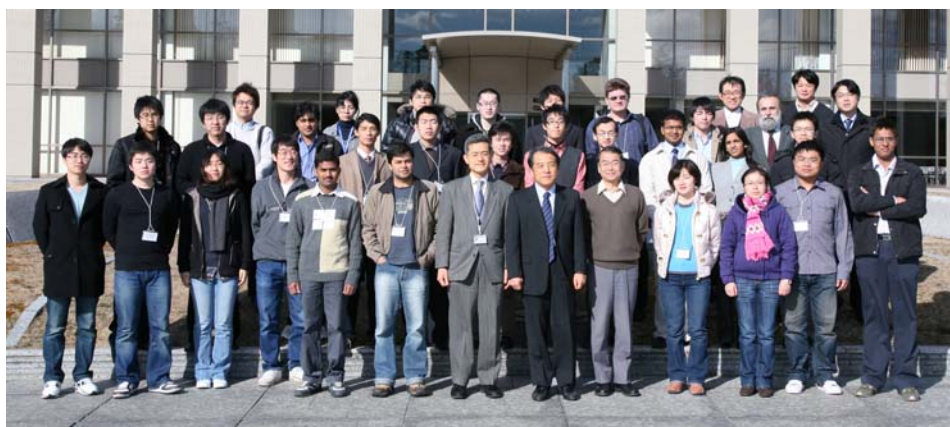


バーチャルリアリティ(VR)の体験

実際の総研大生の研究活動を理解してもらうと同時に、参加者と総研大教員などとの交流を図ることを目的として、現役総研大生の研究発表講演、参加者および総研大生をはじめとする核融合科学研究所で活動している学生や研究者のポスター発表会も行われました。

この総研大アジア冬の学校は総研大物理科学研究科の 5 専攻の教育・研究活動を国内外の学生や若手研究者に広く供するために、平成 16 年度より開催されています。本年度は、「ゆらぎと構造形成の科学—光・生命・物質・宇宙—」を 5 専攻共通テーマ、「プラズマ中の構造形成」を核融合科学専攻のサブテーマとし、例年と同様にシミュレーション科学教育講座との共催として行われました。

参加学生の中からは総研大への進学を考える人も出ており、総研大の活動を内外に認識してもらうための企画として重要な役割を果たしています。



【文責 物理科学研究科 核融合科学専攻 石黒静児教授】

【各種募集】・・・現在公募中の情報を掲載しています。

事 項	応募期間	提出先
国立天文台滞在型研究員	随時(滞在希望初日の前月1日まで ただし滞在希望初日が4月の場合は前月10日まで)	国立天文台研究支援係
国立天文台研究集会(第2回)	平成22年 6月30日(水)	国立天文台研究支援係
http://www.nao.ac.jp/Jobs/Job000191.html		
国立天文台特別共同利用研究員(10月受入)	平成22年 9月1日(水)	国立天文台研究支援係
http://www.nao.ac.jp/Jobs/Job000192.html		

【イベント情報】・・・オープンキャンパス, 入試説明会, 入試など大学行事に関わるもの。

3月

日程	時間	行事名	場所
1日(月) -2日(火)	1日(月) 9:45-20:00 2日(火) 9:30-18:30	インタラクション 2010 情報学専攻・大学院説明(ブース出展)	学術総合センター／一橋記念 講堂
http://www.interaction-ipsj.org/			
8日(月) -10日(水)	8日(月)10:00 -10日(水)3:30	総研大 アジア冬の学校 ゆらぎと構造形成 宇宙科学の最前線	JAXA相模原キャンパス
http://www.isas.jaxa.jp/sokendai/winter_school/indexJ.html			
19日(金)	12:00-14:00	統計科学専攻 平成21年度第2回学生研究発表会 ポスター発表	統計数理研究所 2F大会議室前
23日(火)		学術交流会	湘南国際村センター
24日(水)		学位記授与式	葉山キャンパス
24日(水)		長倉研究奨励賞・ 総合研究大学院大学研究賞 発表会・授 与式	葉山キャンパス

4月

日程	時間	行事名	場所
8日(木)		入学式	葉山キャンパス

<基盤機関の行事>

3月

日程	時間	行事名	場所
2日(火)	10:30-17:45	国際シンポジウム「フェアトレード・コミュニケーション:商品が運ぶ物語」 Fair Trade as Global Commodities: Communication Carry Stories	国立民族学博物館 講堂
		http://www.minpaku.ac.jp/research/fr/20100302.html	
2日(火)-27日 (土)の火・木・ 土・日曜日と祝日	11:00-12:00 13:00-16:00	春のみんぱくフォーラム 2010年—西アジア 再発見関連イベント「じゅうたんをつくろ う！」 (じゅうたんを織ろう！)	国立民族学博物館エントラン スホール サポートスタッフ:チームじゅう たん(MMP)
		http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/ws_carpet100117.html	
6日(土)	13:00-17:00 (開場 12:30)	国際シンポジウム「子どもたちにとっての未 来社会—北欧の思想と実践」	国立民族学博物館 講堂
		http://www.minpaku.ac.jp/research/dp/20100306.html	
7日(日)	10:00-17:00 (開場 9:30)	国際シンポジウム「広がる教育空間—子ども たちのウェルビーイングから考える—」	国立民族学博物館 第4セミナー室
		http://www.minpaku.ac.jp/research/dp/20100307.html	
7日(日)	10:50-16:40 (開場 10:30)	総合研究大学院大学・学術映像教育検討 会関連事業 春のみんぱくフォーラム 2010年—西アジア 再発見関連イベント「映像に見るイスラーム の<周縁>」若手人類学者の民族誌映像 上映会	国立民族学博物館 第5セミナー室
		http://www.minpaku.ac.jp/education/pdf/movies20100213-0307.pdf	
12日(金)	18:30-19:30 (受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャン パス
		http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/schedule.html	
13日(土)	14:00-16:00	第315回歴博講演会「日本の家族の行方」	国立歴史民俗博物館
16日(火)	12:00	第6展示室「現代」オープン	国立歴史民俗博物館
		http://www.rekihaku.ac.jp/events/regular/room_06.html	
3月16日(火) -2011年4月3 日(日)		第6展示室開室記念特集展示 「アメリカに渡った日本人と戦争の時代」	国立歴史民俗博物館

18日(木) -19日(金)	18日(木) 10:00-18:00 19日(金) 10:00-17:00	統計数理研究所 平成21年度研究報告会	統計数理研究所 2F大会議室
19日(金)	18:30-20:30 (開場 17:30)	みんなく公開講演会「ベリーダンスが世界をゆらすー音楽と舞踊のグローバル・コミュニケーション」	オーバルホール (毎日新聞社ビル B1)
http://www.minpaku.ac.jp/research/dp/100319.html#dancegroup			
20日(土)	13:30-15:00	第382回みんなくゼミナール 「トンガの王様と民主主義」	国立民族学博物館 講堂
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar09.html			
21日(日) -22日(月・振休)	21日(日) 13:00-17:00 22日(月・振休) 10:00-15:00	公開ダンス・ワークショップ 表現で出会う・表現でつながる 「影で出会う・影でつながる」	国立民族学博物館 特別展示場
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/100321-22.html			
22日 (月・振休)	13:30-16:00 (開場 13:00)	春のみんなくフォーラム 2010年ー西アジア再発見関連研究公演「アラブ・アンダルシア宮廷音楽の馨りー<モロッコの花>アミナ・アラウィの典雅な歌声」	国立民族学博物館講堂
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/performance100322.html			
27日(土)	13:30-15:30	第132回くらしの植物苑観察会「村絵図を持って村を歩こう」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
27日(土)	18:30-19:30 (受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/schedule.html			
28日(日)	10:30-16:30	春のみんなくフォーラム 2010年ー西アジア再発見関連 MMP ワークショップ「じゅうたんをつくろう!」 (じゅうたんを仕上げよう!)	国立民族学博物館エントランスホール &ピクニック先は当日発表
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/ws_carpet100117.html			

4月

日程	時間	行事名	場所
9日(金)	19:30-20:30 (受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
10日(土)	13:30-17:00	第29回宇宙科学講演と映画の会	新宿明治安田生命ホール
10日(土)	14:00-16:00	第316回歴博講演会 「移民史から考える戦争と差別」	国立歴史民俗博物館

4月20日(火) -5月9日(日)		くらしの植物苑特別企画 「伝統の桜草」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
24日(土)	19:30-20:30 (受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
24日(土)	13:30-15:30	第133回くらしの植物苑観察会 「江戸の花 桜草」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
27日(火) -28日(水)	10:00-16:00	Rではじめる時系列解析 http://www.ism.ac.jp/lectures/22a.html	統計数理研究所 講堂
4月27日(火) -6月20日(日)		第3展示室:紀州徳川家伝来の楽器-琵琶-	国立歴史民俗博物館

5月

日程	時間	行事名	場所
7日(金)	19:30-20:30 (受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
1日(土)	14:30-16:30	歴博映画の会	国立歴史民俗博物館
8日(土)	11:00-12:00	歴博探検「茶わんのひみつ」	国立歴史民俗博物館
	14:00-16:00	第317回歴博講演会 「環境変動と縄文時代の始まり」	国立歴史民俗博物館
22日(土)	13:30-15:30	第134回くらしの植物苑観察会 「美術にみる夏草」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
22日(土)	19:30-20:30 (受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス

<教員の受賞情報等>

物理科学研究科

構造分子・機能分子科学専攻

○ 邨次智 助教

第26回井上研究奨励賞 受賞

英国王立化学会 Dalton Transaction Poster Prize 受賞

<葉山本部の人事異動>

(教員)

平成22年3月31日付 湯川哲之 教授 定年退職

【編集後記】

総研大ニューズレター第 22 号をお届けします。

熱戦を繰り広げていたバンクーバーオリンピックも終了しましたが、日本人選手の活躍に一喜一憂された方も多いのではないかと思います。肉体の限界に挑戦するアスリート達の集中力、精神力には勝ち負けを問わず心が熱くなります。

また、バンクーバーも近年の冬季開催地と同様に開催前から雪不足が指摘されており、これも地球温暖化のひとつの現れでしょうか。気になるところです。

さて、本号は 1 月に各基盤機関等で開催された国際セミナーやアジア冬の学校等の国際的なイベントが紹介されています。国際化は今後大学を語る上での重要なテーマのひとつであるかと思えます。これらの国際的なセミナーやイベントを通して学生のみならず職員にも国際的な意識が高まることを期待しております。

〔総務課〕

◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力お願いします。

発行 2010 年 3 月 3 日

編集



国立大学法人

総合研究大学院大学

THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総務課広報係（担当）

TEL 046-858-1590/FAX 046-858-1542

E-mail: kouhou@ml.soken.ac.jp

©2009 SOKENDAI